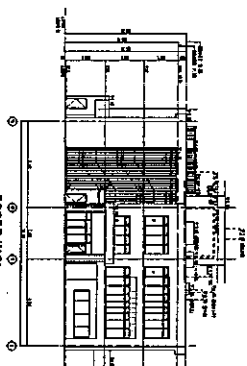


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

使用評価システム: CASBEE-建築(新築) 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(2-1)

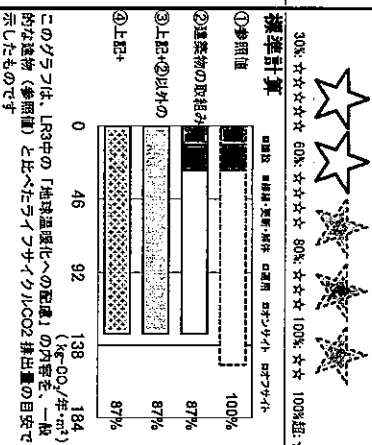
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)堀川病院新築工事	階数	地上3F
建設地	埼玉県本庄市駅南一丁目3115番35	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	150 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(87定数)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月	評価の実施日	2019年3月25日
敷地面積	3,967 m ²	作成者	(株)ソークス一級建築士事務所
建築面積	1,694 m ²	確認日	-
延床面積	4,095 m ²	確認者	-



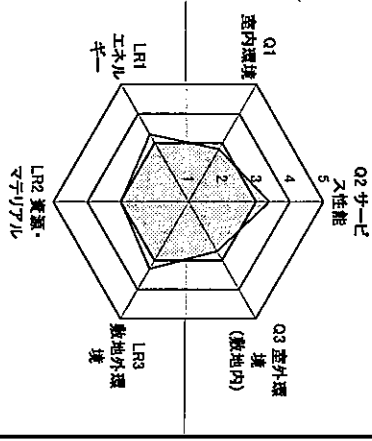
2-1 建築物の環境効率(BEE)とチャート



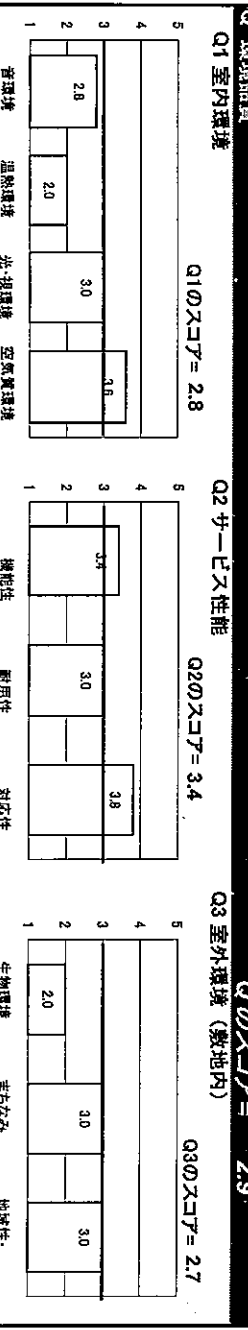
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)



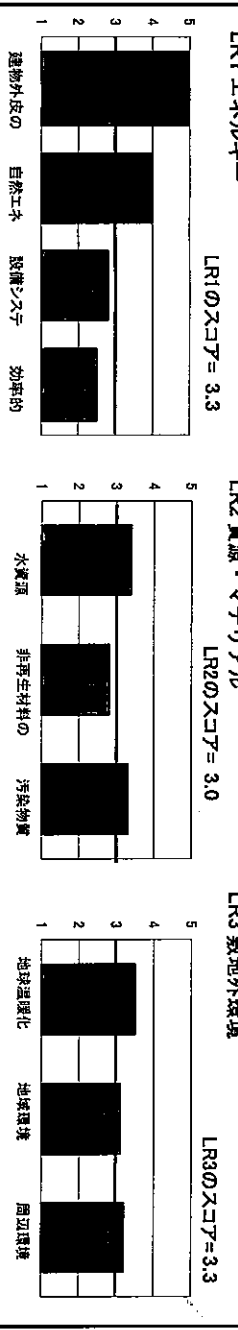
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.2



3 設計上の配慮事項

3.1 観音様やさしい施設となる様、①光と風に配慮した病室計画。②患者様の不安を軽減するための安心感を与える明るい採光。③患者様をサポートするスタッフが動きやすい環境計画。④災害に強い防災・安全対策計画。など配慮した。

3.2 観音様やさしい施設となる様、①光と風に配慮した病室計画。②患者様の不安を軽減するための安心感を与える明るい採光。③患者様をサポートするスタッフの動きやすい環境計画。④災害に強い防災・安全対策計画。など配慮した。

3.3 観音様やさしい施設となる様、①光と風に配慮した病室計画。②患者様の不安を軽減するための安心感を与える明るい採光。③患者様をサポートするスタッフの動きやすい環境計画。④災害に強い防災・安全対策計画。など配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
[仮称]堀川病院新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、C
■評価シート: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q1 建築物の環境品質						
Q1 室内環境		0.40				2.9
1 音環境						
1.1 室内騒音レベル						
1.2 遮音	遮音性能T-2	2.9	0.15	2.5	1.00	2.8
1	開口部遮音性能	3.0	0.40	3.0	0.40	
2	昇降遮音性能	3.8	0.40	2.9	0.40	
3	昇降遮音性能(軽量衝撃源)	5.0	0.40	5.0	0.30	
4	昇降遮音性能(重量衝撃源)	3.0	0.60	2.0	0.30	
1.3 吸音						
2 温熱環境						
2.1 室温制御						
1	室温	2.0	0.35	2.0	1.00	2.0
2	外皮性能	2.2	0.50	3.0	0.50	
3	ゾーン別制御性	3.0	0.38	3.0	0.57	
2.2 湿度制御						
1	湿度制御	3.0	0.25	3.0	0.43	
2.3 空調方式						
3 光・照環境						
3.1 屋光利用						
1	屋光率	5.0	0.30	4.2	0.30	3.0
2	方位別開口	5.0	0.60	5.0	0.60	
3	屋光利用設備	5.0	0.40	5.0	0.40	
3.2 グレサ対策						
1	屋光制御	1.0	0.30	3.0	0.30	
2	遮光	1.0	1.00	3.0	1.00	
3	照度	3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御						
4 空気質環境						
4.1 発生源対策						
1	化学汚染物質	3.6	0.25	3.8	1.00	3.6
4.2 換気						
1	換気量	4.0	0.50	4.0	0.63	
2	自然換気性能	4.0	1.00	4.0	1.00	
3	取り入れ外気への配慮	2.0	0.30	3.6	0.38	
4.3 運用管理						
1	CO ₂ の監視	3.0	0.50	4.0	0.33	
2	喫煙の制御	5.0	0.20	4.0	0.33	
Q2 サステナビリティ						
1 機能性						
1.1 機能性・使いやすさ						
1	広さ・収納性	3.4	0.40	3.4	1.00	3.4
2	高度情報通信設備対応	3.0	-	3.0	0.60	
3	バリアフリー計画	3.0	1.00	3.0	1.00	
1.2 心理性・快適性						
1	広さ感・景観	4.0	0.30	4.0	0.40	
2	リフレッシュスペース	4.0	-	4.0	0.50	
3	内装計画	4.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理						
1	維持管理に配慮した設計	3.5	0.30	4.0	-	
2	維持管理用機能の確保	3.0	0.50	3.0	-	
2 耐用性・信頼性						
2.1 耐震・免震・制震・制振						
1	耐震性(建築物のこわれにくさ)	3.0	0.50	3.0	-	3.0
2	免震・制震・制振性能	3.0	0.80	3.0	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						
1	躯体材料の耐用年数	3.0	0.20	3.0	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	3.1	0.30	3.0	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	2.0	0.20	2.0	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.20	3.0	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	4.0	0.10	4.0	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	4.0	0.20	4.0	-	
2.4 信頼性						
1	空調・換気設備	3.0	0.20	3.0	-	
2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	3.0	-	
3	電気設備	3.0	0.20	3.0	-	
4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	3.0	-	
5	通信・情報設備	3.0	0.20	3.0	-	

換気ダクト(厨房用・置外):ステンレス鋼板製ダクト
給水:塩ビ管/ニッケル鋼管(B)、給湯:SUS管(C)、排水:塩ビ管(B)、
冷媒:銅管(C)

3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり									
1	階高のゆとり	[共用]1F階高:3.9m	4.6	0.30	3.2	1.00	3.8		
2	空間の形状・自由度	[共用]1F壁長さ比率:0.200、[居住]居室壁長さ比率:0.226 [共用]待合ホール:3.500N/m ²	5.0 4.0 4.0	0.50 0.40 0.30	3.0 4.0 3.0	0.50 0.60 0.40			
3.2 荷重のゆとり			4.0	0.30	3.0	0.50			
3.3 設備の更新性			3.4	0.40					
1	空調配管の更新性	保護管およびケーシングラックによる配線 保護管およびケーシングラックによる配線	3.0	0.20					
2	給排水管の更新性		3.0	0.20					
3	電気配線の更新性		5.0	0.10					
4	通信配線の更新性		5.0	0.10					
5	設備機器の更新性		3.0	0.20					
6	バックアップシステムの確保		3.0	0.20					
Q3 室外環境(敷地内)				0.30				2.7	
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30				2.0	
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40				3.0	
3 地域性・コミュニティへの配慮			3.0	0.30				3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50					
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50					
LR 建築物の環境負荷低減性								3.2	
LR1 建築物の環境負荷低減性				0.40				3.3	
1 建物外皮の熱負荷抑制		BpIrr=0.78	5.0	0.20				5.0	
2 自然エネルギー利用		トワライエ、中庭	4.0	0.10				4.0	
3 設備システムの高効率化		[BEL][BEIn]= 0.84	2.8	0.50				2.8	
4 効率的運用			2.5	0.20				2.5	
集合住宅以外の評価			2.5	1.00					
4.1 エネタリંગ			3.0	0.50					
4.2 運用管理体制			2.0	0.50					
集合住宅の評価									
4.1 エネタリંગ									
4.2 運用管理体制									
LR2 資源・エネルギー				0.30				3.0	
1 水資源保護			3.4	0.20				3.4	
1.1 節水		自動水栓・節水二仕付き水栓の採用、省水型便器の採用	4.0	0.40					
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60					
1		雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70					
2		雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30					
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60				2.8	
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10					
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20					
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20					
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20					
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10					
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		GLE法、OACFの採用	5.0	0.20					
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20				3.3	
3.1 有害物質を含む材料の使用			3.0	0.30					
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70					
1		消火剤	4.0	0.50					
2		発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50					
3		冷媒	3.0	0.50					
LR3 敷地外環境				0.30				3.3	
1 地球温暖化への配慮		ラオサイケルCO2排出率97%	3.5	0.33				3.5	
2 地域環境への配慮			3.1	0.33				3.1	
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25					
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50					
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25					
1		雨水排水負荷低減	3.0	0.25					
2		汚水処理負荷抑制	3.0	0.25					
3		交通負荷抑制	4.0	0.25					
4		廃棄物処理負荷抑制	4.0	0.25					
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33				3.2	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40					
1		騒音	3.0	1.00					
2		振動	-	-					
3		悪臭	-	-					
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40					
1		風害の抑制	3.0	0.70					
2		砂塵の抑制	-	-					
3		日照障害の抑制	3.0	0.30					
3.3 光害の抑制			4.4	0.20					
1		昼間照明及び夜間照明のうち外に漏れ出る光への対策	5.0	0.70					
2		昼間の建物外観による反射光(ビルアップ)への対策	3.0	0.30					
		光害チェックリストの項目の過半を満たしている。広告物照明なし							

CASBEE埼玉県 重点項目シート













■使用評価ソフトウェア

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)堀川病院新築工事	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	--------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライオンサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア					
3.5	+	2.6	=	6.1	 
重点項目の各スコアの合計点					
かんばろう 6.0未満		良い 6.0以上	 	非常によい 6.8以上	  
				すばらしい 8.0以上	   

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライオンサイクルCO2の削減

スコア平均 3.5

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア

<配慮した内容を記述>

断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。
また、高効率空調機、LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	<input type="text" value="2.0"/>
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	<input type="text" value="3.0"/>
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	<input type="text" value="3.0"/>

<配慮した内容を記述>

敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。
緑地を設けることにより良好な景観を形成している。

: 入力欄